

# 目次

## 概要

[なぜ STARTTLS の後で」認識されない EHLO および "500 #5.5.1 コマンドの後でをみますか。](#)

## 関連情報

## 概要

Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) と関連付けられるメールサーバ通信および TLS 失敗の「」をなぜ見るかこの資料に記述されています。

## STARTTLS の後で」認識されない EHLO および "500 #5.5.1 コマンドの後でを見る理由

TLS は受信か送信メッセージのために失敗します。

EHLO コマンドが外部メールサーバに、ESA 下記のものへの応答した後:

SMTP メッセージ交換のコマンド「STARTTLS の後で」、ESA は外部メールサーバに下記のものへの応答します:

STARTTLS のための内部テストは正常です。それはファイアウォールを、STARTTLS 作業、ローカル メール サーバまたは telnet インジェクト テストが付いている STARTTLS 接続のようなくまなくバイパスすると意味します。

問題は一般的に SMTP パケット点検 (SMTP および ESMTP インスペクション、SMTP フィックスアッププロトコル) 時 Cisco PIX または Cisco ASA ファイアウォールを使用するとき見られますおよび STARTTLS コマンドはファイアウォールで許可されません。

Cisco PIX Firewall バージョンは重複したヘッダの解釈の不具合が理由で先により 7.2(3) 使用するさまざまな ESMTP セキュリティプロトコル不正確に接続を終えます。ESMTP セキュリティプロトコルは「フィックスアップ」、が「ESMTP Inspect」、および他含まれています。

PIX のすべての ESMTP セキュリティ機能をオフにするか、または 7.2(3) またはそれ以降に PIX、または両方をアップグレードして下さい。この問題は PIX を実行するリモート電子メール宛先と発生するのでこれを消すか、またはそれを消すことを推奨するように、実用的ではないかもしれませんが。推奨事項を伝える機会がある場合ファイアウォールアップグレードはこの問題を解決する必要があります。

一部は、問題すべて、他のヘッダ内のメッセージヘッダーの包含が原因、特にドメイン キーおよびドメイン キーによって識別されるメールのためのシグニチャヘッダではないです。今でも PIX が不正確に SMTP セッションを終了し、配信失敗を引き起こす他の状況の間、DK および DKIM 署名は 1 つの既知原因です。一時的に DK か DKIM をディセーブルにすることでこの問題を今のところ解決できるかもしれませんが最もよいソリューションはこれらのセキュリティ機能をアップグレードするか、またはディセーブルにするすべての PIX ユーザのためです。

Cisco はすべての顧客が DKIM のメッセージに署名し、この機能を使用することを考え続けることを推奨し、既にそうします。

SMTP および ESMTP インスペクション ( PIX/ASA 7.x 以上に ) に関しては参照して下さい:

</c/en/us/support/docs/security/pix-500-series-security-appliances/69374-pix7x-mailserver.html>

ESMTP TLS 設定:

SMTP :

<http://www.cisco.com/en/US/docs/security/pix/pix62/configuration/guide/fixup.html>

提示フィックスアップ コマンドで明示的な ( 設定可能な ) フィックスアッププロトコル設定を表示できます。設定可能なプロトコルのデフォルト設定は次の通りです:

## 関連情報

- [AsyncOS 電子メール ユーザガイド](#)
- [GLO サポート 連絡先 情報](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)